

第六次国有林野施業実施計画 第一次変更計画書

(留萌森林計画区)

計画期間 (自 令和4年4月 1日
至 令和9年3月31日)

第一次変更年月日 : 令和6年3月29日

北海道森林管理局

留萌森林計画区の第六次国有林野施業実施計画の変更について

【変更理由】

次の理由から国有林野管理経営規程（平成11年農林水産省訓令第2号）第14条第2項に基づき変更する。

- 1 水源涵養タイプにおけるより柔軟な施業を可能とするため、人為に加えて天然力も活用した施業の拡充及び複層林造成における上木の伐採時期の見直しにより関連通知を一部改正したことに伴い、関係する項目を変更する。
- 2 国有林の地域別の森林計画における主要な樹種の保育の時期等の目安が変更になったことに伴い、保育総量を変更する。
- 3 国有林野の管理経営に関する基本計画の改定に伴い、特に効率的な施業を推進する森林に関する事項の追加及び項目の整理を行った。

本変更計画は、令和6年4月1日から適用する。

第一次変更計画書

【変更項目及び頁】

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量		
(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等	(1) 1
(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	(2) 3
(6) 保育総量	(4) 3
3 特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積	(新設) 3
4～10	(5) 4
別表 特に効率的な施業を推進する森林	(新設) 5

注：1 ()書きは、留萌森林計画区の第六次国有林野施業実施計画書の頁である。

2 本文については、変更等を行う項目に係る部分を掲載しており、下線部が変更等の箇所である。

3 各表の数値の計は四捨五入のため、必ずしも一致しない。

【現行計画】

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：h a)

施業群	面積	取扱いの内容		伐期齢又は回帰年	
				樹種	
通常伐期	1,007	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】		トドマツ	65年
				アカエゾマツ ・エゾマツ	80年
				カラマツ ・グイマツ	50年
				スギ	65年
				その他針葉樹	60年
長伐期	-	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】		トドマツ	100年
				アカエゾマツ ・エゾマツ	120年
				カラマツ ・グイマツ	80年
				スギ	100年
				その他針葉樹	90年
複層林	21,511	複層林施業	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
				アカエゾマツ ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
				カラマツ ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
				スギ	伐採始期 50年 伐採終期 80年
				その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
		混交林施業	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
天然林・その他	71,150	育成天然林施業	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	30年	
		天然生林施業	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
		その他	他の施業群の取扱いになじまないもの。取扱い内容は個別に定める。		個別に定める。
合計	93,668				

注) 林地面積の集計である。

計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ)

【変更計画】

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(2) 水源涵養タイプにおける施業群別面積等

(単位：ha)

施業群	面積	取扱いの内容		施業方法	伐期齢又は回帰年		
		施業群の細分					
通常伐期	1,007	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。		単	伐期齢	トドマツ	65年
						エゾマツ	80年
						カラマツ	50年
						スギ	65年
						その他針葉樹	60年
長伐期		人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。		単	伐期齢	トドマツ	100年
						エゾマツ	120年
						カラマツ	80年
						スギ	100年
						その他針葉樹	90年
複層林	21,511	人工造林型複層林施業	積極的に人為を加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。	複	上木伐採の始期／終期	トドマツ	50年／130年
						エゾマツ	60年／160年
						カラマツ	35年／85年
		天然更新型複層林施業	天然力を活用しつつ、積極的に人為を加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。	複		スギ	50年／110年
						その他針葉樹	40年／110年
						伐期齢は標準伐期齢に10年を加えた林齢とし、繰返し期間は30年とする。	
混交林施業	天然力を活用しつつ、必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。	複					
天然林・その他	71,150	複層伐型育成天然林施業	一斉林において、天然力を活用しつつ、積極的に人為を加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。	複	上木伐採の始期／終期	針葉樹	60年／130年
		択伐型育成天然林施業	天然力を活用しつつ、必要により人為を加えることにより、森林を造成・維持する。	複		カンバ類	30年／95年
		天然生林施業	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。	天		その他広葉樹	80年／145年
		その他	他の施業群の取扱いになじまないもの。取扱い内容は個別に定める。	個別に定める。			
合計	93,668						

注1) エゾマツには、アカエゾマツを含み、カラマツには、ゲイマツ、ゲイマツF1を含み、カンバ類にはシラカンバ、ダケカンバ、ウダイカンバ、ドロノキ、ハンノキを含む。

注2) 施業方法 単：育成単層林へ導くための施業、複：育成複層林へ導くための施業、天：天然生林へ導くための施業。

注3) 上表における上木伐採の始期は、二段林、多段林造成時である。造成後の上木の伐期齢は、標準伐期齢に10年を加えた林齢とする。

注4) 回帰年について、上表を目安とするが、択伐の実行にあっては、原蓄積と伐採後の回復の状態を試算するものとする。

注5) 林地面積の集計である。

注6) 計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ)

【現行計画】

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施業群	通常伐期	長伐期	複層林	天然林・その他
上限伐採面積	75	-	3,593	11,858

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害防止タイプ	自然維持タイプ	森林空間利用タイプ	快適環境形成タイプ	水源涵養タイプ	合 計
保 育	下 刈	2,375	247	-	-	7,303	9,925
	つる切り	742	84	-	-	2,368	3,193
	除 伐	235	26	-	-	749	1,011

【変更計画】

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施業群	通常伐期	長伐期	複層林	天然林・その他
上限伐採面積	75	-	3,664	11,858

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害防止タイプ	自然維持タイプ	森林空間利用タイプ	快適環境形成タイプ	水源涵養タイプ	合 計
保 育	下 刈	1,903	196	-	-	5,804	7,903
	つる切・除伐	686	77	-	-	2,180	2,943

3 特に効率的な施業を推進する森林の所在地及び面積

別表のとおり

【現行計画】

- 3 林道の整備に関する事項
(略)
- 4 治山に関する事項
(略)
- 5 保護林及び緑の回廊の名称及び区域
(略)
- 6 レクリエーションの森の名称及び区域
(略)
- 7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域
(略)
- 8 その他必要な事項
(1)・(2) (略)
(3) 森林共同施業団地

名称	対象地 (林小班)	面積 (ha)	連携した施業 の内容	備考
(略)				

【変更計画】

- 4 林道の整備に関する事項
(略)
- 5 治山に関する事項
(略)
- 6 保護林及び緑の回廊の名称及び区域
(略)
- 7 樹木採取区の名称、所在地及び面積
該当なし
- 8 レクリエーションの森の名称及び区域
(略)
- 9 国有林と一体として整備及び保全を行うことが相当と認められる民有林野の整備及び
保全等に関する事項
(1) 森林共同施業団地の名称及び区域

名称	対象地 (林小班)	面積 (ha)	連携した施業 の内容	備考
(略)				

- (2) 公益的機能維持増進協定の名称及び区域
(略)

- 10 その他必要な事項
(1)・(2) (略)
(3) (削除)

【現行計画】
(新規)

別表

【変更計画】
特に効率的な施業を推進する森林

所在地（林小班）			
留萌北部森林管理署			
6はほへとかた、7いろにとちぬや、24へとわよ、25いろはりか、27いはほと、28にほとぬお、32ほ、33いはにほへとちりぬるわかよそつうのお、35ろにへと、40は、57とりわ、58いにへ、1001いに、1003ろはに、1005いろほとち、1006ほとり、1008ち、1009り、1018はりぬるれつねなお、1019いちりぬ、1021いろにちり、1124ろ、1128い、1131ろ、1132はにち、1133いろはに、1134ちかよそつおくけ、1137いろにほと、1138い、1139と、1140は、1141ろは、1142はにちり、1149いろか、1151いほち、1155ほ、1157に、1160ろはに、1161によた、1169ほ、1171い01い03り、1176は、1177か、1178ほへ、1179はと、1180いろはほへとちり、2003い、2006い、2010はにへ、2013はにほへ、2014か、2016ち、2017い、2021ろは、2023はり、2027いはにりお、2030いはにちりわたれ、2032へ、2038いにとりぬわかよたれそねむうのおくやまけふこ、2067いろ、2069い、2070にりか、2072いろはにと、2073ろはにほへりぬ、2074ろはにほへと、2076い、2077いわかよお、2078いろ、2083ろ、2084いろに、2085ろはにほへとちぬかお、2086ろはへちりぬ、2087ろは、2088はにほへ、2089はにほへとちりぬそ、2093いろはにほとち、2094いろはにほへとちり、2098は、2099いろはにほへとちりぬ、2100ろとぬ、2106いろはへと、2107いとち、2108いろ、2109わかお、2110い、2113はにほへ、2114いと、2117い、2118いろにほへ、2119ほとち、2120いにりぬ、2124はにほ、2125われお、2127いろほ、2129にな、2133ろはにち、2140いとち、2141り、2150ろ、2157いろに、2163たた01た02、2189い、2201いろ、2202ろはは01ほとちりぬるわかよたれお、2203いは、2213いはほむ、2231い、2243いは、2248ろへとちりぬるお、2271ぬ、2273ち、2275ろ、2280はほちぬかよたれ、2287いろちりぬ、2289いろはる、2293にほ、2295かお			
留萌北部森林管理署計	423箇所	面積	1,916.68ha
留萌南部森林管理署			
60ろり、61か、62と、63ろりよお、80いろはほへちりわかよた、81ちりぬ、82いはちりぬ、83へ、85い、86ろ、87ほ、88いにほ、90いろ、91に、92へ、93は、97ほへ、106いり、107いろはほへとちり、108ろはほ、110い、111ろはにるかよたれつお、113いろはにちりぬ、114いはとちりぬるわかよ、116は、117い、120ろはにほへるたれお、121いろにほち、122らお、123はにほ、125へとちり、126た、127へわ、128いろはにほわ、129はにほへ、131にちるわよたれそつのお、132いにへぬよお、133ろにほへとちりぬ、134いろほへとちりぬるわかよたれ、135はにほへちりぬるか、136いろほへとちぬわかお、137いろはにほりぬるわかお、138ほわかお、139いろはとちりぬるかよお、140いろはにぬるわかお、141いはにへとちりぬ、150お、167へ、168とちぬるわ、169にほへりぬお、171いはぬ、172は、173いろはにへ、177いろはにほ、178へ、179い、181は、182いろは、190いはにほへと、191ほ、1011い、1012は、1013いにほ、1014いろ、1022いろ、1023は、1026ちち01、1030ろ、1032ろ、1034いろ、1035ほ、1036はほ、1037とちり、1040ろはほ、1041ろに、1042いろほへとちりぬわかよお、1043ろほ、1044にほへとぬ、1051い、1052いへと、1054いろに、1055いはほち、1056とちぬお、1057はにほぬかよたれ、1059はちりぬるお、1060ろはにほとち、1061ろはに、1062ろはにわ、1069いろはち、1070いろはにとちり、1071いほ、1072いろはにほへ、1073いろへ、1074いへり、1080は、1081いろは、1082はにほぬ、1083いろへぬ、1084ろ、1086い、1087いろにほへとちりぬお、1088いろにほへちりぬ、1089ろ、1090ろほへ、1091いろはにほへるお、1092に、1093ろは、1094ろは、1095い、1096いはにほお、1097いろはへとち、1102ろはにほへとちりぬわかよたれお、1103いろはに、1104いろはに、1105いろはにほお、1106はにほへとりかお、1107いろにほへとちりぬるわかお、1108いろはにほへとちりわ、1109ろはに、1110いろはにへり、1111いは、1112いろはほへと、1113い01、1114ろはへ01へ02へ03とわか02ね01ね02、1115ろ、1116に、1117いち、1118は、1119り、1120ろ、1123はにへり、1129ろは、1130ろはに、1133いろはにほへ、1134いほ、1140は、1141いに、1142いろ、1143いにるた、1150いはに、1151いほ、1154へ02へ03へ05へ07へ08ち01ち02るたお、1155にぬかれ、1156ろはにへ、1157は、1158ろはにわかよ、1159はにほと、1160へ、1161ろほちりぬるお、1162いろはにほへとちり、1164ろにほへちりぬるお、1165へ、1177い、1183ろ、1185とちわかたそなお、1188ろはにほと、1189にほへとちり、1191いろはに、1192いちぬ、1193いろは、2020ろ、2044ろほ、2048いにほへちり、2065いろにほ、2066ろはほへ、2073ろ、2075りる、2076に、2082りぬわかお、2083いろ、2085は、2086い、2087お、2089はへと、2091ろとる、2092ろはにへ、2093は、2099い、2105と、2106はにほ、2113にほりぬる、2114い、2115に、2116い、2117ち、2118いへるわかお、2119ろほぬ、2124いは、2125ろにぬ、2126はほと、2127ろに、2128いにほり、2130ぬ01ぬ02、2131り01り02り03り04、2132とち、2133にほ、2136ろと、2142い01、2144いろはにへかれそつなむ、2145へとちわかお、2147い、2148ろに、2151いろはにほぬわかお、2153い、2156へとちりぬわ、2157いろほ、2160ろにへ、2161いろほへちりぬるわ、2162と、2164ろにち、2166お、2170とちぬ、2172ほへ、2174はほちり、2175いにほりぬわ、2176ろは、2177ろ、2178はちよ、2180に、2182にへち、2183ぬ、2185ほ、2187ろはにとちり、2191ち、2193ほへと、2194ほ			
留萌南部森林管理署計	827箇所	面積	4,508.82ha
森林計画区合計	1,250箇所	面積	6,425.50ha

注) 面積は林地面積の集計である。